



令和3年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和2年10月30日

上場会社名 株式会社 三東工業社 上場取引所 東
 コード番号 1788 URL http://santo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 克実
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢森 貞行 TEL 077-553-1111
 四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年6月期第1四半期の業績（令和2年7月1日～令和2年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年6月期第1四半期	1,191	△1.6	18	△42.4	22	△36.8	12	△42.1
2年6月期第1四半期	1,210	3.2	32	440.0	35	288.0	21	286.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年6月期第1四半期	21.05	—
2年6月期第1四半期	31.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年6月期第1四半期	3,945	2,502	63.4
2年6月期	4,003	2,524	63.0

(参考) 自己資本 3年6月期第1四半期 2,502百万円 2年6月期 2,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00
3年6月期	—				
3年6月期（予想）		0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 令和3年6月期の業績予想（令和2年7月1日～令和3年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,000	2.7	50	△46.0	50	△50.9	30	△53.1	50.45
通期	6,000	5.2	130	42.7	140	26.2	90	△7.2	151.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年6月期1Q	686,000株	2年6月期	686,000株
② 期末自己株式数	3年6月期1Q	91,359株	2年6月期	91,359株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年6月期1Q	594,641株	2年6月期1Q	685,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新規求人倍率は2か月連続で大幅上昇し、有効求人倍率も8か月ぶりに上昇したものの、4か月連続で1倍を下回っております。投資需要では公共投資は引き続き堅調に推移し、住宅投資と民間設備投資も底入れの兆しがあります。したがって景気の現状は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、厳しい状態にあるものの、持ち直しの動きがみられます。

一方、建設業界につきましては、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は、5か月連続で減少しているものの、減少幅は大幅に縮小しました。新設住宅着工戸数は、5か月ぶりに増加し、公共工事の請負金額は2か月連続で大幅に増加しております。

このような経済状況下、当社は現場力の強化、経費削減及びリスク管理の強化を重点的に取り組み、競争力を高める努力をしております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,191百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益18百万円（前年同四半期比42.4%減）、経常利益22百万円（前年同四半期比36.8%減）、四半期純利益12百万円（前年同四半期比42.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①土木部門

土木部門の受注工事高は、1,831百万円（前年同四半期比9.0%増）となり、完成工事高852百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益30百万円（前年同四半期比270.7%増）となりました。

②建築部門

建築部門の受注工事高は、863百万円（前年同四半期比358.2%増）となり、完成工事高331百万円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント損失14百万円（前年同四半期は、セグメント利益17百万円）となりました。

③不動産部門

不動産部門の売上高は7百万円（前年同四半期比14.2%減）、セグメント利益2百万円（前年同四半期比51.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,907百万円となり、前事業年度末に比べ40百万円減少いたしました。これは主に現金預金が141百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,038百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が10百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,945百万円となり、前事業年度末に比べ58百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,386百万円となり、前事業年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に未成工事受入金が113百万円減少したことによるものであります。固定負債は56百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が3百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,442百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,502百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が14百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.4%（前事業年度末は63.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、令和2年8月7日に公表しました第2四半期累計期間および通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年6月30日)	当第1四半期会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,251,186	1,109,338
受取手形・完成工事未収入金等	1,427,445	1,539,906
販売用不動産	202,336	202,336
その他	66,433	55,655
流動資産合計	2,947,401	2,907,237
固定資産		
有形固定資産		
土地	391,314	391,314
その他（純額）	343,685	335,634
有形固定資産合計	734,999	726,948
無形固定資産		
その他	23,126	23,641
無形固定資産合計	23,126	23,641
投資その他の資産		
投資有価証券	179,888	169,678
その他	141,262	141,144
貸倒引当金	△22,698	△22,698
投資その他の資産合計	298,452	288,123
固定資産合計	1,056,578	1,038,714
資産合計	4,003,979	3,945,951
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	850,519	811,244
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	58,252	12,820
未成工事受入金	420,450	306,549
完成工事補償引当金	6,400	2,900
その他	84,379	53,447
流動負債合計	1,420,001	1,386,961
固定負債		
繰延税金負債	6,775	3,566
その他	52,984	52,450
固定負債合計	59,759	56,017
負債合計	1,479,761	1,442,979

（単位：千円）

	前事業年度 (令和2年6月30日)	当第1四半期会計期間 (令和2年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	849,500	849,500
資本剰余金	625,900	625,900
利益剰余金	1,212,369	1,198,125
自己株式	△209,913	△209,913
株主資本合計	2,477,856	2,463,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,362	39,360
評価・換算差額等合計	46,362	39,360
純資産合計	2,524,218	2,502,972
負債純資産合計	4,003,979	3,945,951

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 令和元年7月1日 至 令和元年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自 令和2年7月1日 至 令和2年9月30日）
売上高		
完成工事高	1,201,177	1,183,625
不動産事業等売上高	8,923	7,652
売上高合計	1,210,100	1,191,278
売上原価		
完成工事原価	1,084,682	1,087,856
不動産事業等売上原価	2,825	4,686
売上原価合計	1,087,507	1,092,542
売上総利益		
完成工事総利益	116,494	95,769
不動産事業等総利益	6,097	2,965
売上総利益合計	122,592	98,735
販売費及び一般管理費	90,481	80,251
営業利益	32,111	18,483
営業外収益		
受取利息	31	30
受取配当金	140	94
経営指導料	3,298	4,055
雑収入	342	263
営業外収益合計	3,812	4,445
営業外費用		
支払利息	—	152
支払保証料	669	479
営業外費用合計	669	631
経常利益	35,254	22,296
特別損失		
固定資産売却損	—	708
特別損失合計	—	708
税引前四半期純利益	35,254	21,587
法人税等	13,630	9,073
四半期純利益	21,624	12,514

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。